



日野市のごみ情報誌

エコ

Vol.48

令和2年10月 発行 / 日野市環境共生部クリーンセンターごみゼロ推進課

利便性よりも未来環境
ごみゼロ社会をめざそう

5つのRで始まるキーワード

- | | | |
|---------|---|---------|
| 1 断 | る | Refuse |
| 2 減 | 量 | Reduce |
| 3 何度も使う | | Reuse |
| 4 返 | す | Return |
| 5 分別徹底 | | Recycle |

〒191-0021 日野市石田 1-210-2 ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606 ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>

「エコー」は市HPでもご覧いただけます。公共施設にも置いてあります。

日野市・国分寺市・小金井市 浅川清流環境組合 合同事業

水銀回収キャンペーン

ご家庭で眠っている水銀含有製品(体温計・温度計・血圧計・容器に入ったもの)をお持ちください

10月15日(木)～12月28日(月)

お持ちいただいた方に、
マイバック進呈!!
(各施設先着30人まで)



回収対象品目 ①水銀体温計 ②水銀温度計 ③水銀血圧計 ④容器に入った水銀

※温度、血圧を示す部分が赤色、青色のもの、電子式のもの是对象外

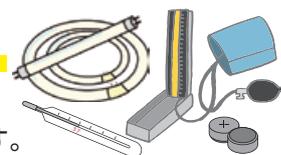
※事業所で使用したものは対象外

回収場所 市役所1階市民相談窓口、七生支所、豊田駅連絡所、生活・保健センター、平山台健康・市民支援センター、東部会館、新町交流センター、南平駅西交流センター、落川交流センター、中央公民館、中央公民館高幡台分室、クリーンセンター

出し方 各施設の窓口で職員にお声掛けください

どうして水銀体温計、水銀温度計、水銀血圧計、容器に入った水銀を回収するの？

- ◆回収する製品には、蛍光管に比べると非常に多くの水銀が使われています。これらの製品が不適切に処理されると、人の健康に重大な影響を及ぼす恐れがあります。
- ◆日野市・国分寺市・小金井市で共同運用している浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設では、6月16日、7月18日に燃やしたごみの中に水銀を含むごみが混入していたことが原因で、浅川清流環境組合の定める公害防止基準値(50 μ g/m³N)を超える水銀濃度が一時的に測定されました。周辺地域に環境汚染や健康被害を生じることはありませんが、今回の事例を重く受け止め、二度とこのような事例が起きることのないように取り組みを行うものです。



ご自宅でお出される場合は必ず「有害ごみ」でお出しください!

今号の主な内容

- プラスチック類ごみの正しい分別・排出にご協力ください など 2・3面
- ごみ・資源の処理にかかる費用 など 4・5面
- ごみを出さない暮らしを目指しましょう! 6・7面
- 剪定枝拠点収集を廃止します など 8面

この情報誌「エコー」は、環境 (Environment) と協力 (Cooperation) の頭文字が皆さまのもとへ響き、それが大きな反響となって広がっていくことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減っていき、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。

日野市と同様のプラスチック類ごみ分別方法が 全国の基本に!



環境省が地球温暖化や海ごみの問題などへの対策として、「プラスチック資源循環戦略」を策定するなど、プラスチック類ごみのリサイクルは全国的にも、また世界的にも重要な課題となっています。

日野市では、市民・事業者・行政の協働で策定した第3次ごみゼロプランで、「**プラスチック類ごみのリサイクルをよりいっそう推進**することを目的に、**プラスチック製容器包装と製品プラスチックの両方を収集**する」という方針を定めました。

このプラスチック類ごみ分別収集方法が、国の有識者会議で**先進市の取り組み**として取り上げられ、「**プラスチック製容器包装・製品プラスチックごみについては、プラスチック資源として分別回収することが求められ、市民にわかりやすい分別方法とすることにより、プラスチック類ごみへの排出量を増やし、プラスチック製容器包装・製品プラスチック類ごみをまとめてリサイクルすることが可能となる環境を整備。また分別努力に応じた市町村へのインセンティブ等を通じて、分別収集体制を全国的に整備していく**」ことなどが、「**今後のプラスチック資源循環施策の基本的方向性**」として示されました。

※下線部は7月21日会議配布資料「今後のプラスチック資源循環施策の基本的方向性(案)」参考

全国のお手本となるよう
プラスチック類ごみの正しい分別・排出へのご協力をお願いします

それが、地球環境の保全につながります。



日野市では、約86%の方にレジ袋を辞退していただきました!

ご協力ありがとうございます

【7月からのレジ袋有料化の効果】 市内スーパーなどでのレジ袋辞退率

配布状況	有料化前		有料化後 (全店で有料化)		辞退向上率
	店舗数(件)	平均辞退率(%)	平均辞退率(%)		
有料	8	86.4	88.6		2.3
値引き	3	61.9	81.3		19.4
ポイント	5	38.6	82.4		43.8
無料	5	10.6	86.5		76.0
全体	21	53.4	85.6		32.2

レジ袋を辞退する方は、増えたけど...

代わりにホームセンターなどでビニール袋を買ったのでは、ごみ減量になりません!

例えば、生ごみは食パンなどの袋に入れて出すなど、ビニール袋は買わないで、元々ごみとして出すものを代替利用することで、ごみ減量につながります。

みんなで減らそう レジ袋チャレンジ

『レジ袋チャレンジ・サポーター』に登録しました!

レジ袋無料配布中止に向けた
(市民・事業者・行政) 共同会議

【レジ袋無料配布中止に向けた共同会議】は、環境省の「みんなで減らそう レジ袋チャレンジ」キャンペーンの『レジ袋チャレンジ・サポーター』に登録し、**マイバッグ運動**を推進しています。

今後もレジ袋のさらなる削減のため

マイバッグ持参へのご協力をお願いします

【レジ袋無料配布中止に向けた共同会議とは】

市民・事業者・行政のメンバーで構成され、平成20年度から、「レジ袋の無料配布中止」や「マイバッグ運動」を推進しています。



プラスチック類ごみの正しい分別・排出にご協力ください

適正な分別でリサイクル推進!



中身が残っているのは ダメ!



二重袋は ダメ!



プラごみと不燃ごみを混合しては ダメ!



中身を取り除いて、指定収集袋に直接入れてください

正しい分別で資源化にご協力ください

危険な異物を混ぜないで!

プラスチック類ごみに混入していた異物

手選別作業での危険性

医療系廃棄物(注射器など) 刃物類

爆発・火災の危険性

スプレー缶 充電式電池やモバイルバッテリー

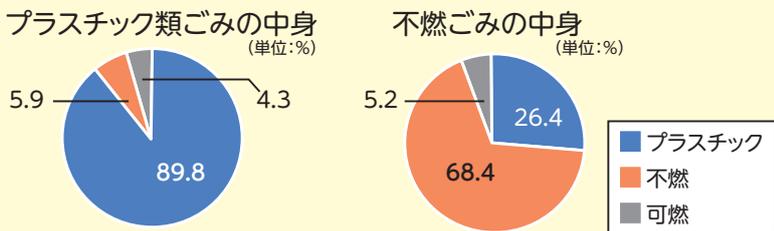
機械での巻き込み

コードなどのひも状のもの 機械に詰まったごみ

正しい出し方	注射器など	処方された病院・薬局にご返却ください
	刃物など	刃の周りを紙や布でくるんで、不燃ごみに「刃物あり」の表記を
	スプレー缶	中身を使い切って有害ごみへ
	充電式電池	モバイルバッテリーを含む電池類はすべて有害ごみへ
	コード類	電気を通すコードは小型家電金属類で
長尺物	30cm(角)に切断してから分別を※可燃・不燃・プラの分別は素材などによって異なります	

日野市では、プラスチック類ごみに混入する不適物は**作業員が手作業で選別**し、取り除いています。
 近年、在宅医療の普及により家庭から出される「在宅医療廃棄物」が増え、**注射針や針付き注射器がプラスチック類ごみに混入**しています。注射針などは作業員の**けがや感染症の恐れ**があります。これらの医療廃棄物は提供された医療機関などに返却し、プラスチック類ごみには絶対に入れないでください。
 この他、刃物などの危険物は手選別の際に**けがの原因**となり、**充電式バッテリーやスプレー缶の混入は、ごみ収集車や施設内での火災・爆発事故などの原因**となり、**ごみ収集の停滞や設備機器の復旧に大変な費用がかかります**。
 分別ルールを守ってお出してください。

異物の混入率



グラフは、令和2年度のごみ袋の中身です。プラスチック類ごみは約90%が正しい中身ですが、不燃ごみは70%程度しか正しい中身ではないことがわかります。プラスチック類ごみも不燃ごみも100%正しい中身で出していただけると、地球環境を守ることやごみ処理にかかるお金を少なくすることにつながります。

ごみ・資源の処理にかかる費用

ごみ減量にご協力をお願いします!

1年間のごみ処理にかかる費用をご存じですか?

令和元年度は、新施設(可燃およびプラ資源化)の建設もあり、年間約54億円の支出となりました。

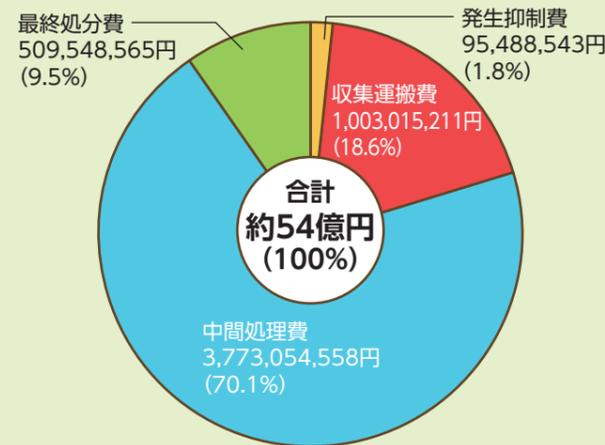
令和元年度ごみ・資源の処理に要した歳出予算 ➡ **54億円**

市民一人当たり ➡ **約3万円**

令和元年度ごみ・資源の処理などの歳入予算 ➡ **17億円**

ごみ・資源物1トン当たり ➡ **約13万円**

Q 何に使っているの?

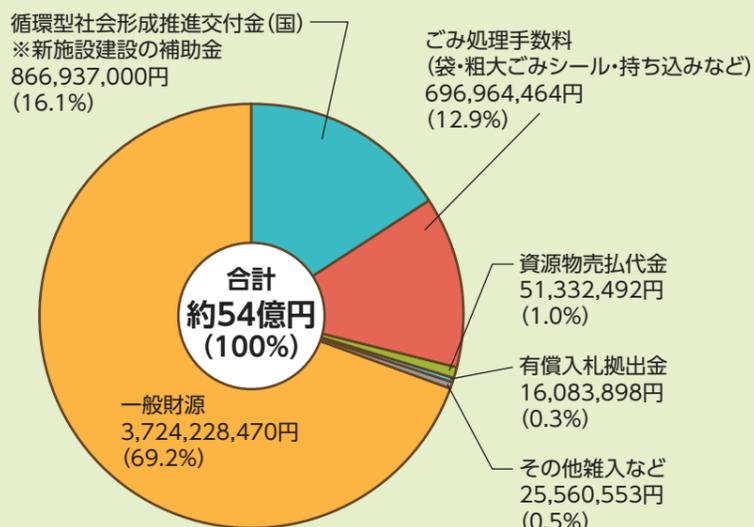


1	発生抑制費 9,500万円	市民の皆さまへの啓発(エコー・カレンダーの発行)、指定収集袋の製造・管理など
2	収集運搬費 10億300万円	可燃ごみ・不燃ごみ・プラスチック類ごみ・資源ごみなどの収集にかかる費用
3	中間処理費 37億7,300万円	新可燃ごみ処理施設の建設・運営、プラスチック類資源化施設(不燃ごみ処理含む)の建設・運営、資源ごみの選別などにかかる費用
4	最終処分費 5億950万円	可燃ごみ焼却灰のエコセメント化や不燃性残渣を埋め立てしている東京たま広域資源循環組合への負担金など

Q 市民が負担しているお金で足りているの?

●ごみ・資源処理にかかる歳入(入ってきたお金)

上記約54億円の支出に対し、約17億円の収入がありました。不足する約37億円は市の一般財源(市税など)となります。



循環型社会形成推進交付金(国) ※新施設建設の補助金	8億6,700万円
粗大ごみ処理手数料 ※粗大ごみシール代金	4,600万円
事業系ごみ処理手数料 ※許可業者による搬入	1億5,600万円
指定収集袋 ごみ処理手数料 ※指定収集袋の代金	4億6,200万円
クリーンセンター持ち込みごみ処理手数料 ※直接持ち込み代金	2,400万円
その他手数料 ※し尿くみ取りなど	900万円
資源物売払代金(別表)	5,100万円
有償入札拠出金(別表)	1,600万円
浅川清流環境組合負担金 ※前年度の繰越金精算金	1,800万円
その他雑入	800万円
合計	16億5,700万円
一般財源(市税など)の充当	37億2,400万円

【別表：資源物売却・処理状況】

資源物は下記の通り取り引きされています。-(マイナス)表示は処理・処分費用を支払って引き渡しているものになります。

品目	取引状況	処理費(-)または売却益(+)
段ボール	8.8円/kgで売却	+13,622,930円
雑誌・雑紙	5.5円/kgで売却	+18,468,560円
新聞紙	9.7円/kgで売却	+2,847,690円
牛乳パック	11.8円/kgで売却	+597,810円
古着・古布	3円/kgで売却	+3,074,850円
アルミ缶	58.6円/kgで売却	+12,042,333円
スチール缶	5.7円/kgで処分	-844,580円
びん	処理費用の約5~16%を負担	-1,051,980円
ペットボトル	60.5円/kgで売却	+16,083,898円
プラスチック(容器包装)	処理費用の約1%を負担	-611,600円
小型家電	8.5円/kgで処分	-611,600円
金属類	34.7円/kgで売却	+1,475,699円
合計		+65,705,610円

※資源物は上記の通り約6,500万円で売却できましたが、収集運搬や中間処理費用に約4億円の経費が必要となります
※新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年度の売却状況はさらに悪化しています

古着・古布にこんなもの混ざっていませんか?



座布団、布団、じゅうたん、バスマット、ペット用に使用した毛布やタオル、レインコート、毛糸玉など...

これらは資源化ができないため、**古着・古布で回収できません。**

座布団、布団、じゅうたんは粗大ごみでお出しく下さい。バスマット、ペット用に使用した毛布やタオル、レインコートは30cm角に切り、可燃ごみでお出しく下さい。また、毛糸玉は可燃ごみでお出しく下さい。

古着・古布に出す際のルール

- 基本は洗ったものを出してください(クリーニングに出す必要はありません)。
- 雨の日でも回収は行いますが、運搬中に濡れてしまうため、資源化できません。なるべく次回の回収日にお出しく下さい。

※現在、新型コロナウイルスの影響で資源受け入れ先の状況改善が見込めないため、古着・古布類の家庭内保管をお願いしています。家庭内保管が難しい場合は、通常の回収日にお出しく下さい

引き続き皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

ましよう!

市民のページ

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

目指せ!ゼロ

知恵袋

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民で構成されています。



Part 40

ごみ減量は5つのRで

リフューズ
Refuse

リデュース
Reduce

リユース
Reuse

リターン
Return

リサイクル
Recycle

① ごみになるものを持ち込まない (発生回避)

- ・マイバッグを持参し、レジ袋は断る
- ・ペットボトル入り飲料はなるべく買わない
- ・使い捨てプラスチック製品 (食器、スプーン、ストローなど) は使わない

② 出るごみを減らす (発生抑制)

- ・「3切り」(使い切り、食べ切り、水切り) を実行し、生ごみをなるべく出さない
- ・生ごみを庭や畑に深く埋める
- ・生ごみをダンボールコンポストなどでたい肥にし、そのたい肥で野菜や花を栽培する
- ・ばら売りや簡易包装、詰め替え用パックを選ぶ
- ・長く使い続ける

③ 何度も使う (再使用)

- ・リユースショップやフリーマーケット、ネットオークションなどを利用する
- ・イベントではリユース食器やマイ食器を使用する

④ 販売店へ返す「容器包装お返し大作戦」(返却)

- ・ペットボトル、トレイ、紙パック、飲料缶などはお店の回収ボックスに返す
- ・新聞、折込チラシは新聞販売店の回収に出す

⑤ 資源物はごみにしないで、有効活用する (再生利用)

新聞・折込チラシ	再生	新聞用紙 印刷・情報用紙 板紙 (ボール紙)	ペットボトル	再生	繊維製品 ペットボトル プラスチック製品
雑誌 雑紙	再生	板紙 (ボール紙) 段ボール 印刷・情報用紙	プラスチック類	再生	プラスチック製品 高炉・コークス炉原料 ガス化(化学工業原料)
段ボール	再生	段ボール 紙筒	かん	再生	アルミ:かん、 自動車部品 スチール:かん、鉄筋・ 鉄骨
紙パック	再生	トイレットペーパー ティッシュペーパー 板紙 (ボール紙)	びん	再生	びん 舗装材 グラスウール断熱材
古着・古布類	再生	中古衣料 (輸出) 反毛 ウエス(工業用雑巾)	小型家電・ 金属類	再生	各種金属材料

可燃ごみや不燃ごみを出す前に、資源物が混入していないか点検しましょう!

ごみを出さない暮らしを目指し

世界共通の目標に向けて、さらなるごみ減量に努めましょう!



地球温暖化の防止

地球温暖化により異常気象が激化し、大規模な森林火災や干ばつ、水害などが頻発しています。焼却するごみを減らし、地球温暖化を進行させる二酸化炭素(CO₂)の発生を抑えましょう。



海のプラスチック汚染防止

世界中の海がプラスチックごみによって汚染され、海洋生物の生存を脅かしています。プラスチックごみそのものを減らすとともに、陸地の散乱ごみをなくし、プラスチックごみの海への流出を防止しましょう。



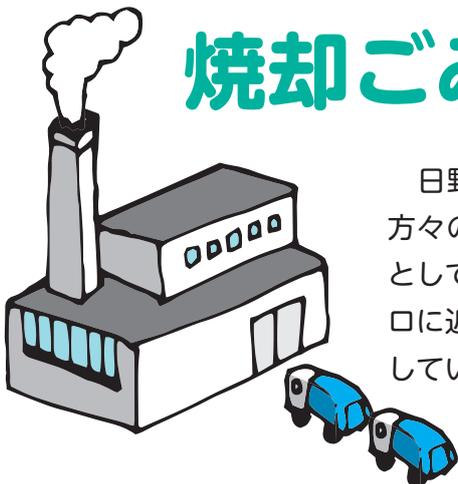
食品ロスの削減

世界では食糧不足のため9人に1人が栄養不足の状態にある一方で、生産された食品の3分の1が廃棄されています。日本では、本来食べられるのに捨てられている食品ロスとして1人1日当たり132g(お茶わん1杯分のご飯に相当)を捨てています。もったいないにこだわり、食品ロスを減らしましょう。



資源の有効活用

有限な天然資源の持続的な利用を可能とするため、使用済みの資源はごみにしないで再利用(循環利用)することにより資源を最大限に活用しましょう。



焼却ごみの削減は必須です!

日野市クリーンセンターにある新可燃ごみ処理施設は、周辺の方々のご理解とご協力により運営を^{エス・ディー・ジーズ}しています。SDGs未来都市として持続可能な循環型社会を形成していくために、焼却ごみをゼロに近づけていく必要があります。今から焼却ごみをこまめに減らしていかなければなりません。

20年間のご利用
ありがとうございます
ございました!

剪定枝拠点収集を廃止します

剪定枝の拠点収集会場は、時間外の持ち込みや、太い幹や根などの不法投棄などが後を絶ちません。

注意書きの看板なども設置していますが、ルール違反が無くなることはありませんでした。

拠点収集会場は、近隣住民も利用する公園などの公共の場が多く、とても危険な状態になっており、改善を求める要望を数多くいただいています。

市では、このような状況を踏まえ、これ以上続けていくことができないと判断し、**令和2年12月をもって、事業を廃止します**。長年にわたってルールを守っていただいた皆さまには、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解をお願いします。



当日の回収時間前には
道路などに散乱していることも

今後の排出について

ご家庭からの排出方法〈剪定枝戸別収集〉

束の
大きさ

1束の長さ50cm以内

1束の
直径30cm
以内



枝についている葉は取らなくても大丈夫です。「とげ」がある場合はその旨表示してください。



2束以上の排出の場合は**粗大ごみ収集(有料)**をご利用いただくか、2回以上に分けて出してください。

緑化推進のため
無料扱い

可燃ごみ収集日に 1回**2束**まで

- 集合住宅は、決められた排出場所に2束×入居数まで
- 事業所は対象外
- クリーンセンターに持ち込む場合は有料
- 効率的な収集を行うため、剪定枝はなるべく木曜または金曜日の可燃ごみの収集日に出してください**
- 束にならない細い枝や、草・葉は「可燃ごみ」の指定袋に入れて出してください

クリーンセンターへの持ち込み(有料)

搬入時間 月曜～金曜日(年末年始を除く) 8:30～11:30、13:00～16:30

料金 1kg当たり42円(現金払い) ※車ごと計量する場合は、10kg単位(1kg単位を四捨五入)の料金となります

注意 ①検量棟ゲートから入場してください。施設の工事やごみの量により、搬入を制限する場合があります ②中身が見えない袋で持ち込まれたものは、搬入をお断りする場合があります ③クリーンセンターへの搬入の際は、危険が伴いますので、係員の指示に従って十分ご注意ください ④サンダルなどでの入場は、お断りします

太さが20cmを超えるもの、長さが2mを超えるものは市で処理できません。民間許可業者をご利用ください

不燃袋のプラごみ用としての使用について

令和2年1月6日より週1回のプラスチック類ごみの回収が始まり、不燃ごみの収集が週1回から月1回の回収に変わりました。そのことにより新たにプラスチック指定収集袋の購入をしていただくことになり、不燃ごみ指定収集袋が多くの家庭で余っていることから、プラスチック指定収集袋の代わりに不燃ごみ指定収集袋を使用するプラスチック類の排出をお願いしてきました。引き続きクリーンセンターへの搬入状況を見ながら、不燃ごみ指定収集袋での排出がプラスチック類ごみ全体の5%程度に下がった時点で、不燃ごみ袋を使用したプラスチック類ごみの排出を終了する予定です。

市民の皆さまにおかれましては、不燃ごみ指定収集袋での回収が終了する前に不燃ごみ指定収集袋を使用するプラスチック類ごみの排出をお願いします。

現在のところ、**終了は今年度末(令和3年3月末)**を目安にしています。

市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

